別表第2（生物生産学部細則第6条第3項，第17条関係）

**○　国際生物生産学主専攻プログラム履修表（専門科目）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 科目区分 | 要修得単位数 | 授　業　科　目 | 単位数 | 履修年次 |
| 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
| 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| 専門教育科目 | 専門科目 | 58 | 分野別専門パッケージ科目(注1)Graduate Thesis IGraduate Thesis IIGraduate Thesis IIIGraduate Thesis IV | 102222 |  |  |  | ○ | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ |
| 必修科目　　計18単位 |
| 専門英語科目群(注2) | Global Environmental Issues and Managements | 3 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| Modern Food ScienceFish ProductionPlankton Biology | 333 |  |  |  | ○○○ |  |  |  |  |
| Animal Science and Technology | 3 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| Physiology of Field Crop Production | 3 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| Introduction Physiology of Domestic Animals | 3 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |
| Molecular-level Understanding of Functionality of FoodsResource ManagementMolecular Agro-life Science海外協定校で学ぶパッケージ科目(注3) | 333各1～3 |  |  |  | ○○○○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 選択必修科目　　計30単位 |
| 選択科目　　計10単位選択(注4～8) |
| (注1)「分野別専門パッケージ科目」は，他の４つの主専攻プログラム（水圏統合科学，応用動植物科学，食品科学，分子農学生命科学）のコア領域の中から指導教員の履修指導による履修計画に沿った科目群を指し，学生ごとに履修科目は異なる。(注2)「専門英語科目群」はAIMSプログラム留学生向けの演習を含めた3単位科目または海外協定校が提供する科目を履修すること。なお，AIMSプログラム留学生向けの授業は9月下旬から12月末で行われるので留意すること。(注3)「海外協定校で学ぶパッケージ科目」は，派遣先で各自が科目を選択し単位修得する。海外協定校で単位修得ができなかった場合，特例として分野別パッケージ科目で10単位を超えて履修した科目を認める場合がある。本学部が提供する海外協定校への留学プログラムはAIMS/PEACEプログラムを想定しており，AIMS/PEACEプログラムに参加する場合はその実施要項に従うこと。(注4)他の４つの主専攻プログラムの専門科目も選択科目に含めることができる。(注5)専門基礎科目の選択必修科目を選択科目に含めることができる。(注6)専門英語科目群で30単位を超えて履修した科目も選択科目に含めることができる。(注7) 他学部の専門科目を選択科目に含めることができる。(注8) 教養教育科目及び教職に関する科目は含めることはできない。 |
| 合　　　計 | 124 |  |

〔卒業要件単位数〕124単位（教養教育科目40単位＋専門基礎科目26単位＋専門科目58単位）